

◎富士山世界遺産センター(静岡、山梨両県の施設比較)

～富士山の世界文化遺産登録決定は2013年6月22日～

	静岡	山梨
オープン	2017年12月23日	2016年6月22日
運営方式	県直営(施設の管理・運営について県職員が責任を持つ)	指定管理制度(県職員も常駐するが、施設の管理・運営を民間業者に委託)
施設	【敷地面積】約7000平方メートル。全館が新設。入館料は有料(中央展示棟、北棟、西棟)。	【敷地面積】計約2万7600平方メートル。 ・北館(旧館:富士ビジターセンター)＝入館料は無料 ・南館(新館)＝入館料は有料
コンセプト・特長 (設置目的)	・人材育成、展示、講座、イベント、調査研究など、富士山を「守る、伝える、交わる、究める」事業を展開し、富士山を楽しみながら学ぶ機会を提供 ・専任の研究員が5人常駐(富士山の歴史や文化などに関する調査研究を進める)	・富士山のもつ多様な自然美を感じながら、世界遺産の価値をわかりやすく紹介 ・富士山や周辺の自然景観に調和した外観や、環境負荷の低減など環境に配慮 ・主要な展望地点から見た富士山の眺望を損なわないようにするとともに、既存施設との調和に配慮
館内設備、展示内容	・建物は「逆さ富士」をイメージする【中央展示棟】と【北棟】【西棟】の3棟で構成 【中央展示棟】 ・内側は、らせんスロープ(全長193メートル)になっていて、壁面に投影される富士登山道の風景を見ながら富士登山を疑似体験できる。 ・スロープの途中には①「登拝する山」②「荒ぶる山」③「聖なる山」④「美しき山」⑤「育む山」⑥「受け継ぐ山」の6つの展示コーナーを配置 【北棟】 ・「富士山の自然」について7分間のシアター映像 ・富士山ライブラリー 【西棟】 ・研修室など	【北館】(「自然」を中心とした展示) ・展示室に入る前に大型スクリーンで「富士山のなりたち」について12分間のガイダンスシアター(日本語と外国語) ・「富士山信仰」「芸術の源泉」に関する展示を、ヘッドフォンを通じて日本語と外国語でガイド ・出口にヒト型ロボットがいて、来館者にアンケート(どこから来たか、南館への訪問有無) 【南館】(「文化」を中心とした展示) ・展示ガイドの「タブレット」が無料貸し出し ・富士山の信仰や芸術に関する専門的な展示 ・富士山ライブラリー
市町や関係団体との連携	・周辺市町の富士山関連施設や山梨県側施設とのネットワークを構築 ・地元富士宮市との連携(「世界遺産富士山の町推進会議」)参加	・静岡県側の「遺産センター」と協力して、シンポジウムなどの共同開催や研究者の相互派遣
目標入館者数 (年間、初年度)	30万人	48万人